

あとがきに代えて

搜索開始から598日目、ミルコが見つかり、しかも新しい飼い主ご家族に愛情を注がれ幸せに暮らしていると知ったときの嬉しさは今でも忘れられません。その一方で、決して諦めずミルコを探し続けた千枝さんご夫妻の長かった日々を改めて思わずにはいられませんでした。

ミルコに似た犬がいると聞くと千枝さんご夫婦は 30～40kmも離れた所へ事情の許す限り一刻も早くと駆けつけました。ふだんは仕事を終え、保護犬猫の世話をしてから出かけ、帰宅が連日深夜に及ぶこともしばしばでした。

当時、私はミルコの安否を気遣う多くの方と同じように、日に何度もブログ「迷い犬ミルコ」を開き、寄せられた情報に喜び、期待しては落胆する日々でした。迷子探しは見つかるまで終わりがありません。空腹で寒さに震えてはいないか、雨に打たれてはいないか、生死の境をさまよってはいないか、次々と頭に浮かんでくる思いに、せめて安否だけでも知ることができたらと願っていました。また、ミルコの搜索を通して 動物愛護センターの実情を知りました。飼い主によって、またブリーダーによって持込まれる犬たち、迷子を探してもいない飼い主、たくさんの犬猫たちが収容期限の終わりとともに殺処分されている現実には衝撃を受けました。

多くの方のご協力で ミルコは渡辺さんご家族に保護され、ユキくんという名で幸せに暮らしていることが判りました。ミルコとの再会後も、千枝さんご夫婦はより熱心に預かりボランティアとしてセンターから引き出した保護犬・保護猫に囲まれて生活しています。

奇跡とも思える再会を果たすことができたのは、ひとえに現飼い主の渡辺さんが名乗りでくださったからです。今これを書きながら、もし私が保護しケアし、家族として大切にしている犬を探している人がいたら・・・「うちの子だと思います」と名乗り出ることが出来るだろうか？ そう思うと渡辺さんご家族には 言葉もないほどの感謝の気持ちでいっぱいになります。

ミルコ搜索に関わって下さった全ての皆様にお礼を申し上げますとともに ユキ(ミルコ)くんの相棒としていつもそばにいてユキくんを守ってくれている渡辺海太くんに「いつもありがとう！ これからもユキくんをよろしくね」と伝えたいと思います。

この本の出版には ユキくんのご家族である渡辺さんがご尽力を下さいましたことも記させていただきます。(ミルコの縁で保護された らら(仮名:幸(ゆき))飼い主 記)